

土砂ハザード情報について②

■土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

■早期避難をお願いします

対象市町村内で土砂災害発生の危険度が高まっている詳細な領域については「土砂災害警戒判定メッシュ情報」でご確認ください。
周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をお願いします。

■土砂災害警戒判定メッシュ情報とは

土砂災害警戒判定メッシュ情報は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表されたときに、土砂災害警戒判定メッシュ情報により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの雨量及び土壌雨量指数の予測値を用いています。土砂災害発生の危険度が高まっている領域にお住まいの方は、土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

気象庁ホームページ土砂災害警戒判定メッシュ情報

色が持つ意味	住民等の行動の例*	内閣府のガイドラインで土砂災害警戒区域等を対象に発令が必要とされている避難情報
極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する 極めて危険 な状況。命に危険が及ぶような土砂災害が すでに発生 していてもおかしくない。 この状況になる前に土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。	避難指示(緊急)
非常に危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険 な状況。 速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。	避難勧告
警戒 (警報級) 2時間先までに警報基準に到達すると予想	土砂災害への 警戒 が必要。 避難の準備 をして早めの避難を心がける。 高齢者等は速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。	避難準備・高齢者等避難開始
注意 (注意報級) 2時間先までに注意報基準に到達すると予想	土砂災害への 注意 が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	—
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—

メッシュ情報地図



QRコードは機読センサーウェブの登録商標です。

* 土砂災害警戒判定メッシュ情報に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。

※要配慮者とは、高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土石流 特別警戒区域

土石流 警戒区域

急傾斜 特別警戒区域

急傾斜 警戒区域

地すべり 警戒区域

- 1.特別警戒区域は、警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される土地の区域です。
- 2.警戒区域は、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域です。過去の土砂災害による土砂の到達範囲などを勘案して設定されます。

※「土石流」「急傾斜地の崩壊」「地すべり」について

- 土石流……山から崩れた土や石が水と一緒になってものすごい勢いで流れ下がってくる現象
- 急傾斜地の崩壊……急な斜面が崩れる現象
- 地すべり……やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く現象

